

防災問題

答 同報系防災無線を活用

問 全国瞬時警報システムの運用体制は



太田 伸子 議員

【J・ALER T（全国瞬時警報システム）について】

問 J・ALER Tの運用体制は。

村長 J・ALER Tとは、津波警報や緊急地震速報

弾道ミサイル情報といった対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、国の機関である内閣官房又は気象庁が人工衛星を用いて情報を送信し、市町村の防災行政無線を自動起動することにより、国から住民まで緊急情報を直接、そして瞬時に伝達することができシステムです。村では、受信アンテナ、受信機、自動

起動装置、回転灯や表示装置などの周辺機器を新設し、同報系防災無線を住民に対する情報伝達手段としたことから、操作卓の改修も行いました。村内周知方法は。

問 村内周知方法は。

村長 受信すると同報無線が自動起動し、屋外子局

と各家庭に設置している戸別受信機から緊急情報が放送されます。

【子どもたちの安全について】

問 白馬南小学校から南に歩道工事が行われているが、ガードレール設置の予定は。

長教育 社会資本整備総合交付金（凍雪害防止）事業で、

車道の除雪した雪を歩道側に押し込み、歩道をロータリーで除雪することになります。堆雪帯設置工事でありガードレールの設置はありません。

問 通学路危険個所の見直しと把握は。

長教育 村教育委員長より交通事故防止並びに水の事故防止に関し、早急な洗い出しを指示されており、実施していきます。

問 各小中学校での安全指導は。

長教育 南小では、集団登校時に踏切や橋、信号機や横断歩道付近に職員を配置し安全指導を行い、県交通安全教育センターより講師を招き、自転車の安全な乗り方について指導を受けます。北小では、

集団登校班の顔合せ会を開催し、1年生の集団下校時に方面別にリボンによる班分けをして、担当職員が同行し安全確認と注意地点等の把握を実施、白馬交番と村交通安全協会の指導員による正しい自転車の乗り方についての知識・マナー・技能を学習しました。



児童生徒を守る歩道（堆雪帯）工事と勾配改修工事 7月25日

中学校では、自転車通学説明会を開催し、ヘルメット着用とあごひもを締めること、並進の禁止、下校時のライト点灯を徹底しました。

【庁舎管理について】

問 庁舎の改修計画は。

村長

建設以来33年が経過し、いたるところ修繕が必要で、防災拠点という位置付けもあり、非常時に備えた発電施設、情報発信施設の整備など、計画的に補修を進めて参ります。